

この時間がとても幸せで、息子も私も自然と笑顔になります。これからもたくさん絵本に触れ、お気に入りが増やして欲しいと思います。

佐藤文輝くんのお母さん  
佐藤貴子さん



その中で保護者の方にお家での絵本について書いていただいたコメントよりご紹介致します。」

息子は「はらぺこあおむし」が大好きです。一緒に本屋さんに行ったとき、「あー」とこの絵本を見つけて手に取るともう手を離しませんでした。息子は毎日この絵本を持ってきてよこんと私の膝に座り、ページをめくります。「おつきさまがそらからみて」と読むと、空を見上げて上の方を指さしたり、「チョコレートケーキとアイスクリーム」と読むと、絵をひとつひとつ指さしたりする姿を見て、だいぶわかるようになったのだなと感心しています。この絵本と同じ歌詞の歌もあるのですが、絵本を見ながらその歌を歌うと息子も体を揺らしてリズムをとったりながら自分なりの振り付けをしたり、一緒にどこどころ歌ったりして楽しんでいきます。

「プチハウスの子どもたちは、絵本が大好きです。園でもお家でも子どもたちには大好きな絵本があるようです。当園では毎月絵本日より発行しています。」

# ぶちたまご

第5号

平成28年2月  
社会福祉法人  
米沢仏教興道会  
プチハウス  
米沢市徳町1-38-1  
TEL 0238-26-6565



あかちゃん組 「砂に触ったよ」

初めての砂あそび...ドキドキしながら見たり、そっと触れたりしています。



てくてく組

「ゆっくりね」

丸太を渡そうとすると自然と手を差し出して支えるお友だち。手を取り合いながら最後まで渡りきることができました。

## 『子どもは風の子』 プチハウス 園長 山口 武揚

木に登ろうとする子、虫捕りをする子、丸太であそぶ子、砂あそびに泥んこあそび。プチっ子はみんな外あそびが大好きです。外に出れば、風が肌に当たる感覚、葉っぱが風に揺れる音、草や土のにおい、見るもの聞く音すべてが子どもの刺激になり、家の中で経験できない様々なことに出会います。

外あそびには、子どもが生きる力に必要な要素がすべて備わっています。今時の子どもは外あそびをあまりしなくなったといえます。原因に、時間・空間・仲間の減少が考えられますが、乳児園には広い園庭、隣接された大きな公園と、外あそびができる環境がたくさん整っています。

「子どもは風の子元気な子」、プチハウスでは寒さに負けず、子どもが思いっきり体を動かす機会をどんどん設けていきます。



とことこ組 「はっしゃオーライ」

みんなで座ると、ベンチも大型バスになります。「オットットツツ...」道が悪いのでご注意ください。



えくぼ組

「のほれるよ!!」

大きな木の切り株は、子どもが登り下りするのに絶好の場所です。いつも喜んであそんでいます。

## わくわくおもちゃ

子どもたちの興味や育ちに合わせて、手作りおもちゃを作っています。ぬくもりのある手作りおもちゃで喜んであそぶ子どもたち。手作りおもちゃであそぶ子どもたちのキラキラとした笑顔を見られることが楽しみです。



### パクパクあおむし

絵本の「はらぺこあおむし」が大好きな子どもたちです。そこで絵本の中に出てくる食べ物でひも通しを作ってみました。手にした子どもたちはいろいろな果物に丸い穴があいていて、絵本の「あおむし」のようにわくわくしている様子が見られました。まっすぐな穴ではなく、あちこちにつちにつちにつちになっているので少し難しいようでしたが、くり返し楽しみ「あおむし」に美味しい果物をたくさんごちそうしてくれます。ラミネートしたことで丈夫になり、子どもたちも持ちやすく、何度もあそぶことができます。

### ボタン掛け

ジャンパーやパジャマのボタンを自分で掛け外ししようとする姿から、あそびの中で楽しめるように作りました。大きな丸ボタンなので、はじめはなかなか



かまぐまく掛けたり外したりできないものの、くり返しあそぶうちに徐々にできるようになっていきました。その姿が着脱の時の姿へと繋がり、意欲的にじっくりと自分でボタンを掛け外しする姿がみられるようになっていきます。



### 編集後記

プチハウスの子どもたちは、よく食べ、よくあそび、毎日元気に過ごしています。今回の情報誌では、子どもたちがそれぞれの保育室で楽しく元気にあそぶ様子とおいしく楽しく、そして安全に食事をする様子をお届けしました。じっくりとあそぶ姿、友だちと笑顔でやりとりする姿がたくさん見られます。これからも、自らあそんだりおいしく食事ができる環境を整えながら、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

(安久津 記)

## ぼくのわたしのすきなあそび

各クラスには、子どもの育ちや季節に合わせたあそびのコーナーに、既製の玩具や保育者の手作り玩具などさまざまあります。子どもたちは、手先を使ったあそび、絵本、ごっこあそび、製作など自分の好きなあそびを見つけると目を輝かせ、保育者や友だちと一緒にあそんだり、ひとりでじっくりあそび楽しんでいます。今回は各クラスの楽しんでいるあそびを紹介します。



### 赤ちゃん組 (0歳児)

#### 「つまんでポトン!はいつたね」

手や指をうまく使えるようになったことで、型落としやポットン棒などを楽しんでいます。そこでじっくりとあそぶことのできる環境の中で、ゆったりとあそんでいる子どもたちです。



#### 「絵本読んで〜」

絵本が大好きなえくぼ組の子どもたち。好きな絵本を手に取りページをめくって見たり、保育者に絵本を読んでと持ってきて読み聞かせを喜んで見えています。繰り返し見ているうちに絵本の内容をおぼえ、ことばを真似て言ってみたり、好きな場面がくるのをわくわくしながら見たいしています。子どもたちが静かな中で見られるような場所に絵本コーナーを設けたり、好きな絵本を選び取り出し片付けやすいようにウォールポケットにするなどし、絵本に親しむことができるようにしています。

### えくぼ組 (0・1歳児)

### とことこ組 (1歳児)

#### 「いただきまーす」

ままごとが大好きなとことこ組です。きゅうり、トマト、きゃべつなどの食材玩具はもちろんのこと、チェーンやお手玉なども用意し食材に見立ててあそべるように工夫しています。ナイフでチョッキンチョッキン、フライパンに食材を入れて、シャツシャツシャツとキッチンで上手にふってごちそうのできあがり。テーブルに並べて、みんなで椅子に座って「いただきま〜す」「かして」「まっけてね」などのことばも聞かれ、友だちとかかわりながら楽しくあそんでいます。



#### 「上手に塗れるよ」

玩具棚に並んでいるのりあそびや箸あそび、ひも通しなどの手先を使うあそびの中から、自分で選びトレごとテーブルへ持ってきてじっくりとあそんでいます。のりあそびでは、さまざまな図柄から好きな図柄を自分で選び、マニキュア容器に入れた洗濯のりを使ってマニキュア筆で○や△、□など、イラストの形に合った折り紙をのり付けして楽しんでいます。あそび終わったら、使ったものを玩具棚に片付けます。あそびたい時に自主的に好きな手先を使うあそびを選び、日常的にさまざまな手先を使うあそびを楽しんでいます。

### てくてく組 (2歳児)



## 離乳食を2回、食べています



手づかみで、  
楽しく食事をしています!!

赤ちゃんの消化器は未熟なため、不規則な授乳や食事は消化器に負担になります。また、離乳食を始めたら毎日同じ時間に食べることで生活リズムを整えることができます。

1日24時間のサイクルの中で、赤ちゃんの消化吸収しやすい時間が10時、14時、18時とされています。そこで、日中の機嫌がよく、赤ちゃんの消化吸収が良いとされている10時頃と14時頃の2回、園で離乳食を食べています。



### ある日の中期食



#### 午前食

- ・おかゆ
- ・ほうれん草スープ
- ・豆腐入り鶏団子
- ・キャベツと人参煮
- ・人参スティック
- ・バナナ



#### 午後食

- ・おかゆ
- ・玉葱スープ
- ・麻婆野菜豆腐
- ・かぼちゃ煮

## 食物アレルギーのあるお子さんへの対応

食物アレルギーがある場合、アレルゲンを除去するだけでなく、代替りの食材を使い代替食を作っています。栄養バランスだけでなく、アレルギー児の気持ちも配慮し、なるべく同じように見せたものを作り、同じものを食べているような楽しい食事ができるように心掛けています。

アレルギー除去がある時には、職員が一目見て分かるように給食室の前に除去の絵の描いてあるプレートをかけて知らせ、食べる時やおかわりのものを置く時もトレイを色分けし、安心して安全な食事ができるように取り組んでいます。玄関の近くに食事サンプルケースを設置しており、食事やおやつは子ども目線、離乳食や献立板は保護者目線に置き、今日の食事やおやつの話親子で話すことのできるようなきっかけになればと思っています。

### おいしいおやつ



#### <乳児おやつ> 野菜クッキー

- ・小麦粉
- ・バター
- ・砂糖
- ・南瓜ペースト
- ・人参ペースト

#### <アレルギー児> 米粉野菜クッキー

- ・米粉
- ・サラダ油
- ・砂糖
- ・南瓜ペースト
- ・人参ペースト

### <アレルギー表示>

